

R8. 1
《第1号》

今伊勢西小学校



よりよい今伊勢西小学校をめざして

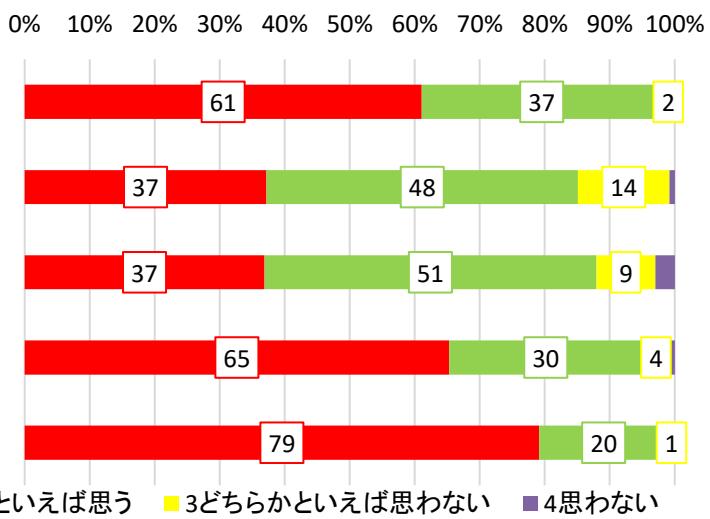
厳冬の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施いたしました本校の教育活動に関するアンケートにつきまして、集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。保護者の皆様には、お忙しいところ、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

アンケートは、「学校生活について」「生活習慣について」「教職員について」「教育活動について」「家庭との連携について」の項目ごとにまとめました。今後、学校ではアンケートを踏まえ、よりよい今西小学校をめざして教育活動を推進してまいります。保護者の皆様方のより一層のご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。

1 学校生活について

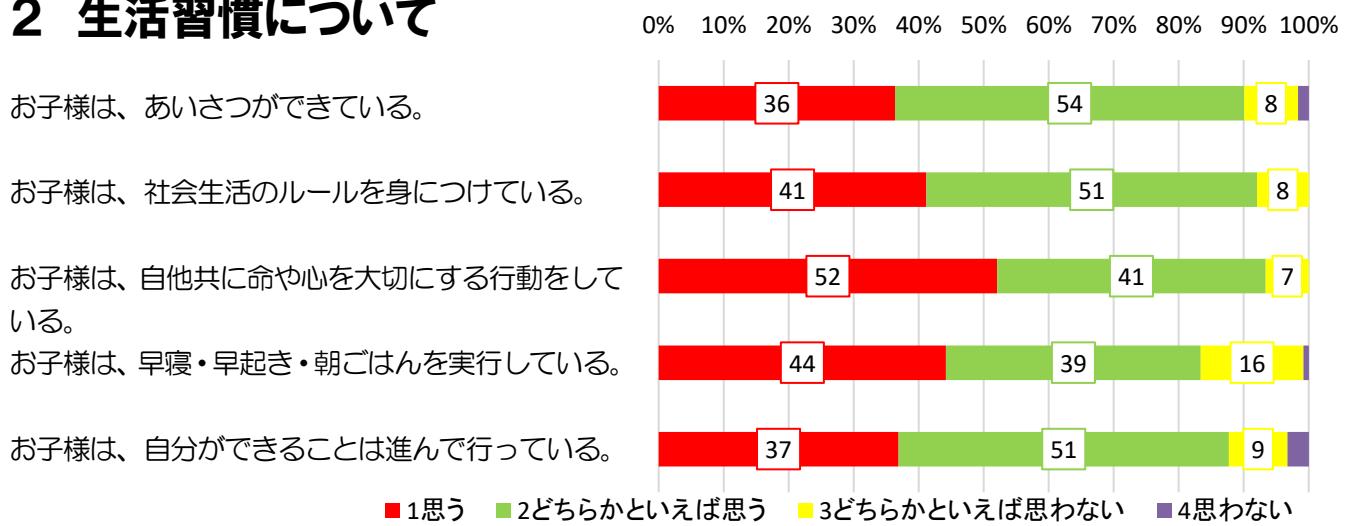
- お子様は、学校へ明るく元気にかよっている。
- お子様は、話を聞く姿勢ができている。
- お子様は、授業が楽しくわかりやすいと言っている。
- お子様は、自分の学級は楽しいと言っている。
- お子様は、学校行事に楽しく参加している。



『学校へ明るく元気にかよっている』『自分の学級は楽しいと言っている』『学校行事に楽しく参加している』の項目で、「思う」「どちらかといえば思う」を合わせると、95%以上の高い評価となりました。

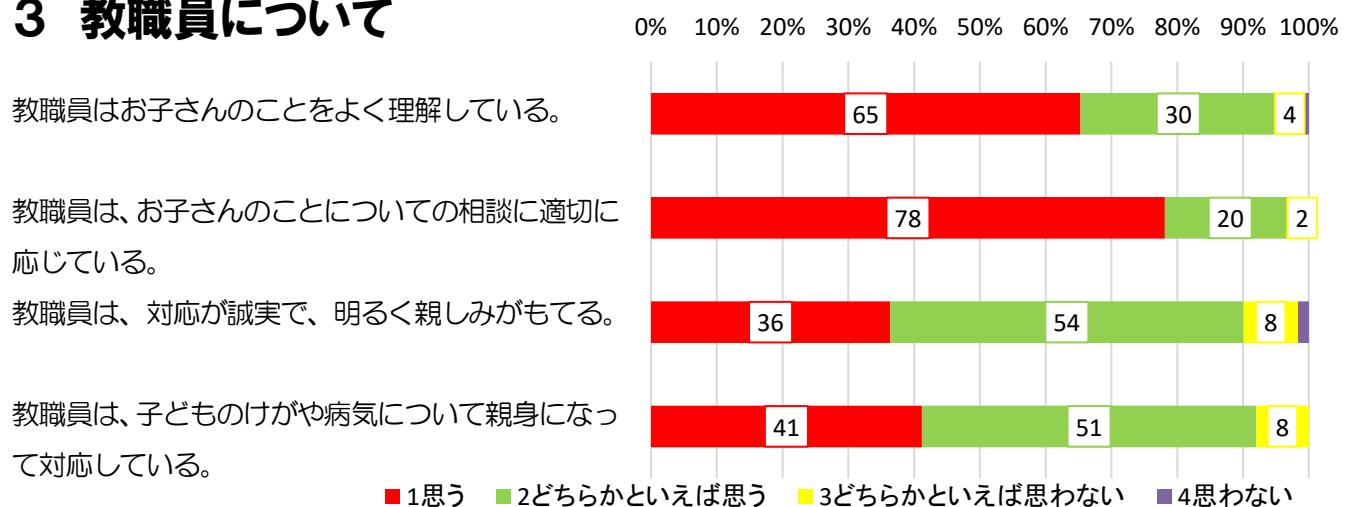
『話を聞く姿勢ができている』『授業が楽しくわかりやすいと言っている』の項目は、他に比べ割合が少し低いので、学習マナーを意識させていくとともに、「楽しくわかりやすい授業」をめざして、引き続き研究や修養をすすめ、学力の定着・向上をめざします。

2 生活習慣について



昨年度に比べ、『あいさつができている』『社会生活のルールを身につけている。』『早寝・早起き・朝ごはん』の項目で、「思う」「どちらかといえば思う」の割合は増加しています。特に、あいさつについては大きく増加しました。しかし、早寝早起き朝ごはんについてはもう少し増加してほしいところです。生活習慣については繰り返し呼びかけを強化していきたいと思います。考える機会や話し合う場を設定し、自分の考えをもって実践できる児童の育成をめざします。ご家庭でのご協力もよろしくお願いします。

3 教職員について



『お子さんによく理解している』『お子さんことについての相談に適切に応じている』の項目で「思う」「どちらかといえば思う」を合わせると、95%以上の評価を得ています。また他の項目についても、昨年度に比べ増加し90%に達しました。さらに教職員が誠実に対応できるよう、また、けがや病気について親身になって対応できるよう心がけていきたいと思います。

①一人一人を大切にし、子どもとともに学ぶ教師、②子どもに学ぶ楽しさ喜びを味わわせる教師、③使命感に燃え、自己研鑽に努める教師をめざし、児童一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう努めてまいります。

4 教育活動について

学校は、ICT 機器の活用をしたり、個に応じた支援をしたりして確かな学力の定着をめざした努力をしている。

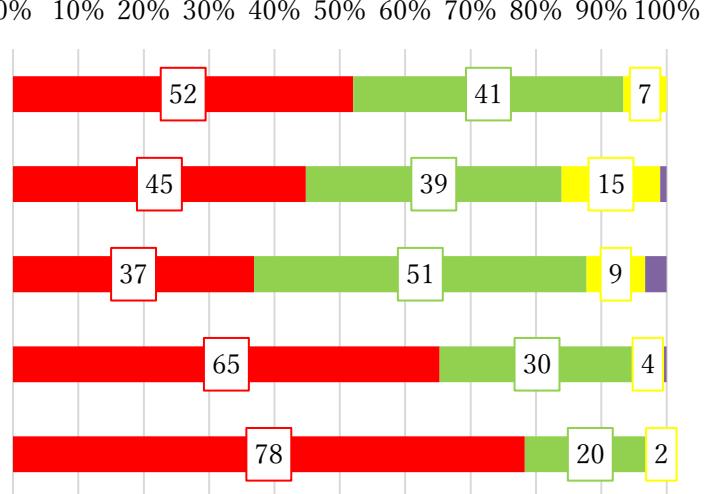
学校は、心の教育（道徳・朝の読書・ふれあい活動など）に熱心に取り組んでいる。

学校は、一人一人を大切にし、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。

学校は、健康・体力づくりに取り組んでいる。

学校は、潤いや安らぎのある環境づくりに取り組んでいます。

■ 1思う ■ 2どちらかといえば思う ■ 3どちらかといえば思わない ■ 4思わない



昨年度に比べ、『心の教育に熱心に取り組んでいる』『一人一人を大切にし、いじめのない学校づくりに取り組んでいる』の「思う」「どちらかといえば思う」を合わせた割合が増加しました。すべての項目が90%以上を目指していきたいと思います。

心の教育を通して、いじめのない学校づくりのため、いじめの早期発見・解消に向けて取り組んでいきます。また、児童の健康・体力づくりの機会の確保に努めてまいります。そして、児童一人一人が安心して学習したり生活したりできる環境づくりに力を入れていきます。

5 家庭との連携について

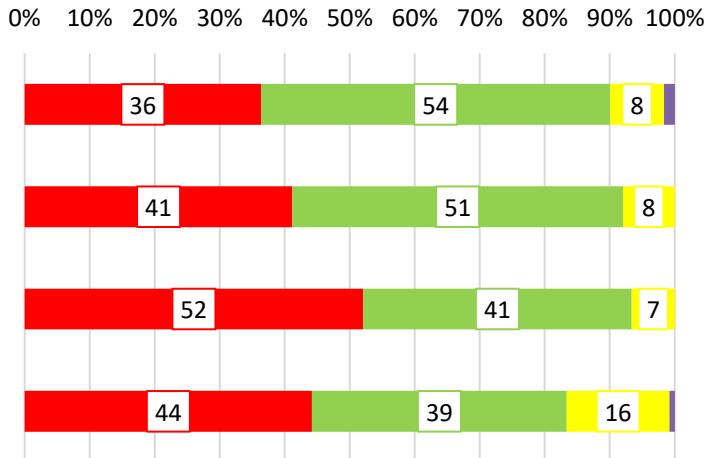
学校は、施設や感染症対策など、安全面に十分に配慮している。

学校は、学校公開やホームページ等を通して、学校の様子を家庭や地域に伝える努力をしている。

学校は、地域と連携して、交通安全、防災、防犯などに配慮した取り組みを推進している。

保護者の意見が学校の教育活動に生かされている。

■ 1思う ■ 2どちらかといえば思う ■ 3どちらかといえば思わない ■ 4思わない



『地域と連携して、交通安全、防災、防犯などに配慮した取り組みを推進している』の項目以外は、昨年度より「思う」「どちらかといえば思う」を合わせた割合が増加しました。

特に施設や感染症対策が大きく増加しました。今年度は多くの施設について修繕を行うことができました。今後も、引き続き危険箇所については周知して安全に努めていきます。また、感染症対策として、引き続き、換気、手洗い、消毒など対策していきます。